



いまばり

2月1日号

2021年/令和3年

第64号

市議会だより

発行■今治市議会議長 今治市別宮町1丁目4-1 TEL0898-36-1580 FAX0898-36-1582
編集■広報広聴特別委員会 ホームページ■<https://www.city.imabari.ehime.jp/gikai/>



もくじ

11月臨時会	2	議案の審議結果	8
代表質問	3	決算特別委員会委員長報告(概要)	10
一般質問	3	議会日誌	12
委員会審査	6	あとがき	12
特別委員会中間報告	7		

瓦のふるさと公園(菊間町)



令和2年度12月
一般会計補正予算
2億5,787万8千円
原案可決

11月臨時会のあらまし

令和2年10月に出された人事院勧告に鑑み、職員等の期末手当を0.05か月分引き下げるための臨時会が11月30日に開催されました。

提案された条例改正案は、委員会付託、委員会審査を経て、本会議において委員長報告後、採決を行い、原案のとおり可決して臨時会を閉会しました。

委員会審査

総務委員会

今治市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について

人事院の給与勧告に鑑み、本市職員の給与もこれに準じて改定しようとするもの。

今治市議会議員に対する議員報酬、費用弁償及び

期末手当支給条例の一部を改正する条例制定について

人事院の給与勧告に鑑み、議会議員の期末手当についても他との均衡を考慮して改定しようとするもの。

今治市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について

人事院の給与勧告に鑑み、特別職の職員の期末手当についても他との均衡を考慮して改定しようとするもの。

今治市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例制定について

人事院の給与勧告に鑑み、一般職の任期付職員の給与もこれに準じて改定しようとするもの。

今治市会計年度任用職員の給与等及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について

人事院の給与勧告に鑑み、会計年度任用職員の給与もこれに準じて改定しようとするもの。

令和2年11月臨時会 議案の審議結果

番号	件名	結果
		11月30日議決
議案116	今治市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決(賛成多数)
議案117	今治市議会議員に対する議員報酬、費用弁償及び期末手当支給条例の一部を改正する条例制定について	原案可決(全会一致)
議案118	今治市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決(全会一致)
議案119	今治市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決(賛成多数)
議案120	今治市会計年度任用職員の給与等及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決(賛成多数)
報告 11	専決処分について ・損害賠償額の決定及び和解について ・今治市地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化のための固定資産税の特例措置に関する条例の一部を改正する条例制定について	受 理

各議員の議案に対する賛否状況

賛否の分かれた案件の賛否状況を記載しています。

議員名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
番号	丹下大輔	黒川美樹	壺内和彦	永井隆文	松田澄子	羽藤謙司	井村雄三郎	山岡健一	野間有造	藤原秀博	越智忍	重松真司	木村文広	渡部芳史	谷口京典	森近藤博	森田博	矢野雄嗣	越智卓三	中村卓喜	渡辺文誠	松岡一洋	井手洋行	平田秀夫	堀田順人	本宮健次	岡田勝利	加藤明	寺井政博	松田敏彦	井出健司	
議案116	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案119	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案120	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ ○：賛成 ×：反対

※ 堀田順人議員は、議長職のため表決に加わっておりません。

12月定例会の あらまし

今定例会は、3日から21日までの19日間の会期で開催されました。

3日の本会議では、令和元年度の決算関係議案について、閉会中に審査を行った決算特別委員会の委員長から審査の概要についての報告後、決算関係議案の認定等を行いました。次いで、令和2年度の補正予算が7件、条例案が3件、その他の議案が5件、合わせて15件が提案されました。

7日は代表質問を行い、8日、9日の2日間は4人の議員が一般質問を行い、理事者からの答弁を得ました。また、9日には委員会審査のため、提案された議案を所管の委員会に付託しました。

委員会審査を経て、21日の本会議では、提案された議案について採決を行い、全会一致で原案のとおり可決しました。そして、ひとり親世帯臨時特別給付金についての追加提案があり、委員会付託、委員会審査を経て採決を行い、全会一致で原案のとおり可決しました。次いで、3つの特別委員会の中間報告をそれぞれの委員長が行い、最後に市長の閉会挨拶、加えて今任期最後の定例会につき、議長からも挨拶を行い、今定例会を閉会しました。

代表質問

福祉の充実について



清風 会
(藤原秀博)

Q 本市では、特に特別養護老人ホームなど、介護が必要なお年寄りが地域で安心して暮らせる施設が不足しております。数字を具体的にみてみますと、特別養護老人ホームの入所申込者は1036人になっており、内訳は在宅申込者244人、老健施設などに入所しながらの申込者792人です。

A 本市は、3か年計画で特別養護老人ホームなどの拡充に取り組んでいますが、入所待機者の解消策について、お伺いします。

A 特別養護老人ホームの入所申込者は、介護保険事業支援計画策定の基礎資料とするため、

愛媛県が3年ごとに調査しており、昨年の結果は、議員ご発言のとおりでございました。その中で入所申込者の中には、既にほかの介護保険施設に入所している方もいらっしゃいますし、また、在宅の要介護3以上の方であっても、4割を超える方が、「今すぐの入所は希望しない」と回答されておりま

す。このような状況も踏まえながら、施設整備方針につきましても、現在、介護保険運営協議会にて令和3年度から5年度を計画期間とする「第8期介護保険事業計画」の案を策定中でございますので、当協議会の提言を待つて、数値目標を決定したいと考えております。

ほかの質問

- ・子育て支援策の充実について
- ・医療の充実について
- ・安定した雇用の確保について
- ・移住・定住の促進について

一般質問



松田 澄子
(日本共産党)

学校法人加計学園への補助金支出の経済波及効果について

Q 開設に係る事業費補助を行ってきた。「建設整備で240億円、大学運営で年間20億円の経済波及効果が見込まれる。」と説明されてきたが、経済波及効果はどれほどあったのか。

A 公表済みの経済波及効果額を基に、現時点の学生数、教職員数などで試算すると、生活に伴う効果額約10億円、大学運営における消費活動に伴う効果額約5億円、開学3年目で少なくとも年間15億円の効果が見込まれ、着実に大学立地による効果が表れている。賃貸マンション等着工数も順調に増加し、今後も学生が増えることで民間投資が活発になると考えられる。若者の地元定着が図られていくことで、将来

新型コロナウイルス感染症対策について

的に大きな経済効果につながっていくことも期待する。高校生の施設見学の受入れや大学生が行う小学生向けの公開講座も好評である。こうした大学の活動や様々な地域貢献の取組と連携しながら、この地で生まれ育った子供たちの心にしっかりと根づく地域づくりを進めていくことで、地域と大学がともに発展する、活力あるまちづくりに取り組んでまいりたい。

Q いまばりエール支ルクーポン事業などの支援は、どれだけの方々に届いたのか。

A いまばりエール支援金は、50%以上売上げが減少し、持続化給付金を受けた中小企業者等へ10万円を給付するもので、申請件数は11月末で2789件。いまばりエールクーポン事業は、参加店舗数292店舗、テイクアウトクーポンの換金申請額は11月末で1888万6800円である。



渡部 豊
(公明党)

運転免許証自主返納の促進について

Q 運転に不安があつても、事故を防ぐための運転免許証の返納には大きな課題が横たわっています。それは、返納後の移動手段の確保です。日常生活での買い物や病院といった自由な移動は、高齢者の自立した生活に欠かせません。さらに、家からバス停まで遠いといった理由などから、マイカーを欠かせない方は多くいらっしゃいます。内閣府の2020年度版高齢社会白書によりますと、外出時には自分ですンドルを握るといふ80歳以上の方は26.4%に上りました。これは、80歳以上でも、4人に1人以上の方は外出時に自分で車を運転しているという実態です。こうした現状か

ら考えられることは、返納に至っていない大きな原因はやはりマイカーに替わる移動手段に困ることではないかと思えます。県内の複数の自治体では、地域の実情に合わせて自主返納者に対してタクシーの利用券等を助成しています。この助成は返納を決定する大きなきつかけになると考えます。そこで、本市においても事故の減少につながる取組として、運転免許証自主返納者に対するタクシー利用券の助成について伺います。



谷口 芳史
(公明党)

小児病院のない島嶼部における通院入院時の交通費について

Q 本年から中学生までの医療費が通院、入院とも無料になりましたが、大島地域には小児科の病院はありません。乳幼児が内科の病院に行っても診てはくれませんが、小児科で診てもらおうようにと言われることが多いと聞きます。結局、橋を渡って小児科の病院に行くことになり、医療費は無料でも橋の通行料金が必要となります。しばらく通院するとなると通行料金だけでも大きな負担です。妊婦健診、乳幼児健診の受診は交通費の助成を行います。健診時に助成があつても、その後小児科の医者にかかる時に橋の通行料金が負担になるのなら、島で

は子育てをしようとは思えなくなりそうです。小児病院のない島嶼部における子供の通院時に、償還払いでも橋の通行料金などの交通費を助成する支援を検討すべきと思いますが、お考えをお聞かせください。

A

島嶼部におきましては、乳幼児が病気になった際には陸地部の小児科にかかる方がいらっしゃることも承知しております。しなみ海道の通行料金に係る支援策につきましては、様々な施策を展開しておりますが、島嶼部の若い世代にとつて、子育てしやすい環境づくりのためにどのような支援が必要か、今後とも調査、研究を進めてまいりたいと考えております。

ほかの質問

- ・子育て支援アプリについて
- ・高齢者等世帯に対するごみ出し支援について
- ・脳ドック検診への助成について



永井 隆文
(公明党)

LINE(ライン)を活用した道路等の異常通報システムについて

Q 道路の改善・補修要望の現状について

A

令和元年度の実績として、関係各課で受けた情報が710件で毎年増加傾向にある。市独自の取組として、シルバー人材センターに、道の異常箇所の探索、調査のためのパトロールを委託しており、令和元年度の実績として、2010件の異常を発見しており、市民の皆様からいただいた通報などを合わせると、昨年度は2720件の情報を承っている。

Q

LINE(ライン)を活用した通報システムについて

A

本市においても、本年8月に公式LINEアカウントを公開したところ、12月8日までに、1757人に「友達登録」をしていただいている。利用者の多いLINEの活用は、情報発信のみならず市民からの相談や情報提供を広く迅速に把握できるツールとして非常に有効な手段であると考えている。道路の異常が発生しているも、そこを通る市民の皆さんが、その場で簡単にお手持ちのスマートフォンから写真など、分かりやすい情報を提供していただけるようになれば、市の担当課が的確に状況を把握し、速やかに補修などの対応を行うことが可能になる。今後、通信の安全性なども考慮しながら、LINEなどSNSアプリと連携した市民通報システムの構築について、行政のデジタル化を推進する観点からも、検討してまいりたいと考えている。

意見書 (いけんしょ)	議会が地方公共団体の機関としての意思を、意見としてまとめた文書のことです。地方公共団体の公益に関する案件について、国会または関係行政庁に提出することができます。請願、陳情の中に意見書提出の要請が含まれる場合があります。
一事不再議 (いちじふさいぎ)	議決された内容を再度議決しないことを指し、原則として決められています。
開議 (かいぎ)	その日の会議を開くことです。議長が議長席から開議を宣告して、その日の会議がスタートします。
議案 (ぎあん)	議会の議決を求めるために議長に提出する案件のことです。議案の多くは市長から提出されますが、議員や委員会からも提出できます。ただし、予算に関する議案は議会側から提出することはできません。
議員の任期 (ぎいんのにんき)	議員が、その地位を有する期間のことをいい、地方自治法により普通地方公共団体の議員の任期は4年と定められています。
決議 (けつぎ)	議会が行う意思表示のことです。政治的な効果を狙う、あるいは議会の意思を対外的に表明する必要があるなどの理由で行われる議決です。
審議・審査 (しんぎ・しんさ)	「審議」は、議会の会議で説明を聞き、疑問をただし、討論し、賛否や可否を問うといった一連の過程を指す用語です。「審査」は、委員会において、議会の議決対象となる特定の事項について、議論し一応の結論を出す一連の過程を指す用語です。具体的な審議または審査は、議長もしくは委員長の議題宣告により開始され、表決結果の宣告をもって終了します。
定足数 (ていそくすう)	会議で意思決定をするために必要最小限の出席構成人数のことです。地方議会は、議員定数の半数以上の出席がなければ会議を開けません。つまり議員定数の半数が会議の「定足数」となります。
討論 (とうろん)	会議において、表決の前に賛成か反対かの意見表明を行うことです。単に自己の賛否を述べるのみでなく、意見が定まらなかったり意見が異なったりする相手を自己の意見に同調させようと努めることが主な目的です。
閉会 (へいかい)	議会を閉じ、法的に活動能力のない状態にすることです。閉会後は会議を開くことはできず、開くためには新たな議会の招集行為が必要です。



委員会審査

総務委員会

過疎地域自立促進基金費

新型コロナウイルス感染症拡大の影響による過疎対策事業債（ソフト分）充当事業の中止に伴い、財源を基金に積立てようとするもの。

旅客鉄道災害復旧事業費負担金

令和2年7月豪雨によるJR内子線（予讃線支線）の災害復旧事業に対し、沿線自治体による協調補助を実施しようとするもの。

市税過年度還付金

法人市民税にかかる過年度還付金の不足額。

避難施設感染防止対策支援事業費補助金

自治会等が管理し、避難所として活用する集会

所等の感染防止対策を促進するため、衛生環境の整備に要する経費を支援しようとするもの。

今治市債権管理条例等の一部を改正する条例制定について

地方税法の改正に準じ、特例基準割合の名称を延滞金特例基準割合に改めようとするもの。

今治市火災予防条例の一部を改正する条例制定について

対象火気設備等の位置、構造及び管理並びに対象火気器具等の取扱いに関する条例の制定に関する基準を定める省令の改正に伴い、所要の改正をしようとするもの。

教育厚生委員会

地域保健対策費

新型コロナウイルス感染症が疑われる患者を受け入れる2次救急医療機関における検査体制確保

に要する経費を支援しようとするもの。

母子保健事業費

鳥嶼部に居住する妊婦及び乳児の検診受診を促進するため、通院にかかる交通費の一部を助成しようとするもの。

ひとり親世帯臨時特別給付金事業費

新型コロナウイルス感染症の影響により、低所得のひとり親世帯の生活実態が依然として厳しい状況にあることを踏まえ、ひとり親世帯臨時特別給付金の基本給付の支給対象者に対し、基本給付の再支給を実施しようとするもの。

産業環境委員会

農業用施設災害復旧事業費

7月の大雨により被害を受けた農業用施設の災害復旧。

財産の処分について（新都市整備事業用地）

今治市高橋ふれあいの丘3番を渦潮エンタープライズ株式会社に売却しようとするもの。

今治市サイクリングターミナル及び今治市レンタサイクルの指定管理者の指定について

令和3年4月1日から令和8年3月31日までの指定管理者に、一般財団法人今治勤労福祉事業団を指定しようとするもの。

建設水道委員会

道路災害復旧事業費

7月の大雨により被害を受けた市道の災害復旧。

今治西部丘陵公園の指定管理者の指定について

令和3年4月1日から令和8年3月31日までの指定管理者に、株式会社今治夢スポーツを指定しようとするもの。

伴い事業費を増額しようとするもの。

四村団地4号棟建設工事の内建家その他工事請負契約の締結について及び四村団地5号棟建設工事の内建家その他工事請負契約の締結について

四村団地4号棟建設工事の内建家その他工事及び四村団地5号棟建設工事の内建家その他工事の施行のため請負契約を締結しようとするもの。

スポーツ振興特別委員会

今治市基金条例の一部を改正する条例制定について

今治市スポーツ振興基金を設置しようとするもの。

スポーツ振興基金費

スポーツ振興基金に、企業版ふるさと納税等による寄附金を積立て、スポーツ施設の整備及びスポーツ振興事業の資金に充てようとするもの。



糸山サイクリングターミナル（サンライズ糸山）



今治西部丘陵公園

今治市水道事業会計補正予算について

（仮称）高橋浄水場導水管整備事業において、地下埋設物（転石）の影響による土留工法の変更に

特別委員会中間報告

■広報広聴特別委員会の中間報告

平成29年2月からの今任期中、議会報告会を平成29年度に市内4か所で開催し、平成30年度からは今治市連合自治会の役員等や岡山理科大学獣医学部の学生の代表と意見交換会を行い、多くの皆様からのご意見を拝聴し、議会活動に役立てました。また、市長部局、教育委員会と協力して中学生議会を開催し、中学校3年生の生徒に市議会の役割や重要性を認識してもらうように努めてまいりました。

しかし、今年度はコロナ禍により、これらを開催することができず、広報広聴活動が難しい状況でありましたが、その中で、委員会を開催し、市議会だよりを、5月、8月、11月と発行し、市民の皆様には議会の活動が伝わるよう、内容の検討を行い、工夫して編集をしてまいりました。

現在、来年2月1日発行のたよりを委員会において編集中ですが、今後においても、市民の皆様にはさらに市議会だよりを身近なものとしてお届けできるよう、研さんしてまいります。

残り僅かな任期ですが、市民に開かれた議会、身近な議会を目指して、努めてまいりたいと考えます。

■地方創生特別委員会の中間報告

我が国はかつて経験したことのない本格的な人口減少社会に突入しており、本市でも1980年をピークに人口が減少に転じております。このような状況を踏まえ、本市議会では、平成29年2月の臨時会において、「地方創生特別委員会」が設置され、「雇用対策に関する事項」、「地域産業の競争力強化に関する事項」、「人口減少対策に関する事項」、「少子化対策に関する事項」、「離島航路及び生活交通バス路線の維持確保に関する事項」を特定の事項として審査及び調査を行ってまいりました。

本市が進める地方創生の取組がより実効性のあるものとして推進されるよう、今任期中、先進地への視察や先進事例などの調査を行うとともに、理事者との協議も重ねてまいりました。

また、市民生活において必要不可欠である交通の確保については、今治市の特性である島嶼部や陸地部等といった地域それぞれの実情に応じ、適切に維持・確保されるように、細かく審査及び協議を重ねました。

これからの今治市の持続的発展のためには、人口減少の克服や交流・関係人口の拡大を目標として、産業の振興を図り、雇用対策や本市の地域特性を踏まえた具体的な施策に市民の皆様と共に取り組んでいくことが重要であると考えます。

当委員会としましても、残り僅かな任期ですが、理事者とともに最善の方策を検討してまいりたいと思います。

■スポーツ振興特別委員会の中間報告

当委員会は平成30年6月定例会において、「スポーツ振興に関する事項」、「スポーツパーク整備に関する事項」を特定の事項として審査及び調査するため、設置されました。

「スポーツパークの整備に関する事項」については、令和2年2月の臨時会において、審査を終了する旨の委員長報告を行い、承認されております。そして新たに、「陸上競技場の整備に関する事項」が加わり、現在、審査をしているところです。

陸上競技場の整備については、令和2年度の当初予算に整備箇所検討のための経費が計上され、6月定例会の委員会において、陸上競技場整備検討業務委託の内容について説明を受け、調査箇所については、西部丘陵公園と波方公園運動場の2箇所とすることで理事者の説明を了承し、今現在、来年2月を期限に、委託業務が進んでいるところです。

我々特別委員会としましても、任期が残り少なくなりましたが、今後も市民の皆様のご理解をいただけるよう、理事者と協議を重ねながら、審査を進めてまいりたいと考えております。

令和2年12月定例会 議案の審議結果

番 号	件 名	結 果
		12月3日議決
議案110	令和元年度 今治市水道事業決算の認定について	認 定(賛成多数)
議案111	令和元年度 今治市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	原案可決(全会一致)
議案112	令和元年度 今治市工業用水道事業決算の認定について	認 定(賛成多数)
議案113	令和元年度 今治市工業用水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	原案可決(全会一致)
議案114	令和元年度 今治市公共下水道事業決算の認定について	認 定(賛成多数)
議案115	令和元年度 今治市一般会計特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定(賛成多数)
		12月21日議決
議案121	令和2年度 今治市一般会計補正予算(第8号)	原案可決(全会一致)
議案122	令和2年度 今治市港湾事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決(全会一致)
議案123	令和2年度 今治市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	原案可決(全会一致)
議案124	令和2年度 今治市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	原案可決(全会一致)
議案125	令和2年度 今治市介護保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決(全会一致)
議案126	令和2年度 今治市水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決(全会一致)
議案127	令和2年度 今治市公共下水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決(全会一致)
議案128	今治市債権管理条例等の一部を改正する条例制定について	原案可決(全会一致)
議案129	今治市基金条例の一部を改正する条例制定について	原案可決(全会一致)
議案130	今治市火災予防条例の一部を改正する条例制定について	原案可決(全会一致)
議案131	四村団地4号棟建設工事の内建家その他工事請負契約の締結について	原案可決(全会一致)
議案132	四村団地5号棟建設工事の内建家その他工事請負契約の締結について	原案可決(全会一致)
議案133	財産の処分について(新都市整備事業用地)	原案可決(全会一致)
議案134	今治市サイクリングターミナル及び今治市レンタサイクルの指定管理者の指定について	原案可決(全会一致)
議案135	今治西部丘陵公園の指定管理者の指定について	原案可決(全会一致)
議案136	令和2年度 今治市一般会計補正予算(第9号)	原案可決(全会一致)

令和2年12月定例会 請願・陳情の審議結果

【前議会から継続しているもの】

番号	件名	結果
請願第13号 (R2.6.8受理)	日本政府が、「核兵器禁止条約」に署名・批准することを求める意見書提出の要望について	継続審査

【今議会に提出されたもの】

番号	件名	結果
請願第14号 (R2.12.3受理)	安心安全な教育環境のための少人数学級を求める意見書提出の要望について	継続審査
陳情第7号 (R2.12.3受理)	加齢性難聴者への補助器具購入に対する公的補助制度創設を求める陳情について	継続審査



各議員の議案に対する賛否状況

賛否の分かれた案件の賛否状況を記載しています。

議員名 番号	議員名																															
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
	丹下大輔	黒川美樹	壺内和彦	永井隆文	松田澄子	羽藤謙司	井村雄三郎	山岡健一	野間有造	藤原秀博	越智忍	重松文広	木村芳史	渡部京典	谷口京博	森近藤博	森田博	矢野雄嗣	越智卓三	中村文誠	渡辺一洋	松岡行夫	井手秀順	平田順人	堀田健次	本宮勝利	岡田明博	加藤政彦	寺井敏彦	松田出健	井出健司	
議案110	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案112	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案114	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案115	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ ○：賛成 ×：反対

※ 堀田順人議員は、議長職のため表決に加わっておりません。



本会議のインターネット中継について



ここをクリック

本会議のインターネット中継の視聴方法

今治市議会ホームページの「市議会インターネット中継」をクリックする。

今治市議会では、開かれた議会を目指して、本会議のインターネット中継を行っています。パソコン、スマートフォンなどにより、ライブ中継、録画放送をご覧いただけます。なお、録画放送はライブ中継配信の日付から30日間を経過すると削除されますので、ご注意ください。

同時に多くの方がインターネット中継を視聴された場合、映像がうまく映らないことがあります。また、本会議の様子は、インターネット配信のほか、今治CATV(株)のコミュニティチャンネル(11CH)でもライブ中継されています。

決算特別委員会委員長報告（概要）

10月16日、11月11日及び12日の3日間にわたり決算特別委員会を開催し、
議案第110号「令和元年度 今治市水道事業決算の認定について」
議案第111号「令和元年度 今治市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について」
議案第112号「令和元年度 今治市工業用水道事業決算の認定について」
議案第113号「令和元年度 今治市工業用水道事業会計未処分利益剰余金の処分について」
議案第114号「令和元年度 今治市公共下水道事業決算の認定について」
議案第115号「令和元年度 今治市一般会計特別会計歳入歳出決算の認定について」

以上6件の審査を行いました。

12月3日の本会議において、委員長が審査の過程で論議された主な事項について報告を行いました。以下、その概要をお知らせします。

■水道事業会計

販売利益について

Q 販売利益について令和元年度が1立米当たり12.72円で、大きく利益も出ている。料金改定をした影響が大きいと思うが、料金改定に頼ったのでは、市民の納得が得られないので、経営の合理化にどのように取り組んでいるのか。

A 基本的に3年ごとに料金を改定する考えではあるが、浄水施設等の統合と事業体の統合で合理化を図っていきながら、なるべく改定率を上げないような形で経営努力をしていく。

管路の更新について

Q 現在、(仮称)高橋浄水場の工事を重点的に行っているのですが、管路の更新があまり進まなかったのか。

A 水道部で取り組んでいるのは、施設の統合を一番に目指している。今、施設にお金がかかっているのですが、管路の更新が十分でない状況ではあるが、(仮称)高橋浄水場の整備が終わった翌年ぐらいから、今治市国土強靱化地域計画にもうたった基幹管路などの耐震化による更新が進んでいく想定である。

■公共下水道事業会計

有収率について

Q 業務実績における有収率が全国平均値と大きく差がある要因について。

A 本市は比較的早くから下水道事業に着手したこともあり、管路の老朽化が進んでいるため、有収率が低くなっていることが考えられる。今後、管路の古い地区を重点的に調査し、敷設替え等の対応をしていきたい。

■一般会計・特別会計

公営住宅使用料について

Q 公営住宅使用料の徴収率と滞納戸数について。

A 徴収率については、対前年度比で全体として1.6%向上している。また、滞納戸数については、公営住宅2,190戸のうち、おおむね300戸で推移している。

民生費について

Q 病児保育事業委託料の事業実態と結果について。

A 病児保育事業には2つあり、1つは病児対応型で、病院の施設に保育士を配置し、病気のお子さんをお預かりする事業、もう1つは、体調不良児対応型で、保育所に看護師を配置して、保育

所でけがをしたり、発熱したお子さんを保護者が迎えに来るまで世話をするという事業で、令和元年度の利用者数は病児対応型が延べ1,066人、体調不良児対応型が延べ122人である。

土木費について

Q 老朽危険空家除却促進事業の実績について。

A 20件の応募のうち、事業の対象となるものが8件あり、予算全額を執行して6件の実績であった。

鉱泉供給事業特別会計について

Q 歳入の使用料及び手数料が113万円減少している。使用する事業者は同じであるが、使用量が減ったということなのか。

A 使用する事業者数は変わらないものの、鈍川温泉組合の使用量が減少していることに加え、鈍川せせらぎ交流館も減少したことによる影響があった。

Q 基金が1億5,000万円ほどあるが、これは供給管のために積立てが必要と思われるが、供給管はどのような状況なのか。

A 老朽した部分を必要に応じて修繕しているが、今後、大規模な修繕等が出てくるおそれがある。また、スタンドや源泉もあるので、基金については、それらの施設改修の費用に充てることになる。

国民健康保険特別会計について

Q ジェネリック医薬品利用差額通知を送付している効果について。

A ジェネリック医薬品に切替えたほうが薬代が安くなる方を抽出してお知らせしており、通知を送付した方の約42%、1,435人が切替えをされ、230万円程度の医療費の削減効果が上がっている。

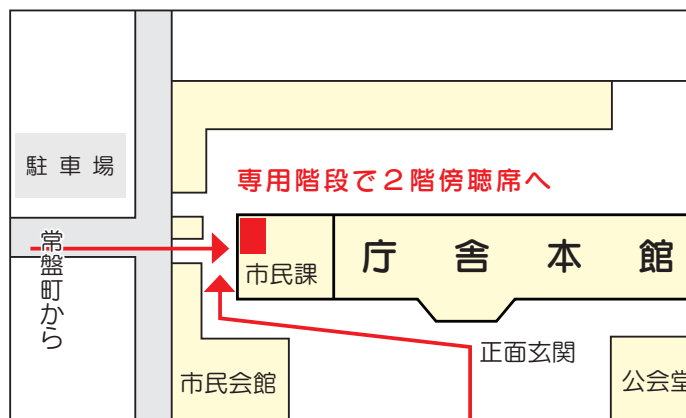
市議会を傍聴してみませんか

— 市政と議員の活動を知るよい機会です —

本会議の傍聴

本会議の当日、市役所本館市民課裏入口から2階へお上がりください。受付で住所・氏名などをご記入の上、傍聴席にお入りください。定員は80人です。

現在、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、本会議の傍聴席は通常80席ですが、間隔を空けて座るように対策をしております。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



市議会傍聴席案内図

委員会の傍聴

委員会の開会10分前までに市役所本館3階の議会事務局で受付をし、傍聴許可証の交付を受けてから、委員会の許可を得て傍聴できます。許可証の交付は5人までで、定員を超える場合は抽選で傍聴者を決定します。

議会日誌



議員研修会

令和2年9月

18日 会派代表者会議

〃 広報広聴特別委員
会

10月

2日 堀田議長、木村副
議長愛媛県市議
議長会秋季定期総
会出席のため松山
市へ出張

8日 広報広聴特別委員
会

14日 東予地区市議会議
長会先進都市等行
政視察

16日 決算特別委員会

22日 議員協議会

29日 議員研修会

〃 議会運営委員会

11月

8日 堀田議長海事業
業への支援策に関
する要望活動等
のため東京都へ10
日まで出張

11日 決算特別委員会

12日 決算特別委員会

16日 会派代表者会議



薬剤の付着状況を確認する様子

令和2年10月29日、市民会館大会議室において議員研修会を開催しました。

講師に一般社団法人日本災害救助支援機構の高須賀 顕 代表理事をお招きして、「新型コロナウイルス感染症拡大防止について」と題して、ウイルスの特性や日常、災害時の対策について、ご講演いただきました。また、感染拡大状況模擬体験として、薬剤を使って、周りへの付着状況を確認しました。

あとがき

今任期は平成29年2月20日から始まり、残すところ僅かになりました。

この号を発行してすぐの令和3年2月7日に、新設合併後5回目となる今治市議会議員選挙が行われます。

今任期を振り返ってみますと、岡山理科大学獣医学部の開設、新ごみ処理施設「バリクリーン」の稼働、西日本豪雨災害、そして新型コロナウイルス感染症への対応など、今治市においても、今治市議会においても様々なことがありました。市民の皆様のご理解、ご協力の下、今治市発展のため私たちが市議会議員は合議制の議会の中で議論を重ね、案件について議決してまいりました。

改選後は、現在の定数から2人減らし30人の議員で、令和3年2月20日から新たな任期が始まります。今任期中で議員を退く者、引き続き責任を担う者などに分かれていますが、これからも今治市の発展を心から願ひ、また、その発展を担う一人として、誠心誠意努めてまいります。

今治市議会議員一同



今定例会最終日に挨拶をする堀田議長



広報広聴特別委員会

- | | | | | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|----|------|-----|
| 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 副委員長 | 委員長 |
| 松田 | 越智 | 森 | 木村 | 永井 | 壺内 | 黒川 | 丹下 | 中村 | 本宮 |
| 敏彦 | 豊 | 京典 | 文広 | 隆文 | 和彦 | 美樹 | 大輔 | 卓三 | 健次 |

市議会に対するご意見・ご要望を E-mail または FAX でお寄せください。
お寄せいただいたご意見・ご要望は、今後の参考とさせていただきます。

E-mail : gikai@imabari-city.jp